

多摩市立連光寺小学校

問い合わせ先: 電話番号 042-373-1920

## I 学校の概要

### 1 児童生徒数, 学級数, 教職員数

児童数 396名

学級数 12学級

教職員数 30名

### 2 地域の概況

東京多摩地区郊外にあり、周囲は住宅と都立桜ヶ丘公園(里山)である。徒歩で多摩川まで行くことができる。

### 3 環境教育の全体計画等

- ・1, 2年生は周辺の自然環境での体験学習
- ・3年生は、地域の自然や施設での体験・調査活動
- ・4年生は、里山の水の流れを追い、多摩川調査
- ・5年生は、里山の森林学習と谷戸田での稲作体験
- ・6年生は、発電を中心にエネルギー学習とSDGs
- ・環境委員会の活動としてグローブ活動

## II 研究主題

教育課程全体で取り組むESDの  
実践と教育活動の工夫

## III 研究の概要

### 1 研究のねらい

児童が持続可能な社会づくりの価値や取組意欲、能力・態度を高めることを目指し、新学習指導要領で示されるカリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、生活科・総合的な学習の時間と教科との連携を図り、教育課程全体で環境教育を核とするESDに取り組んでいく。

### 2 校内の研究推進体制

#### (1) 研究推進体制

校長のリーダーシップの下、グローブ担当教員を中心に組織的に、研究計画、研究授業計画、協議会運営、各学年の進行管理、発表会の運営などを進めている。また、全教員が研究授業の実践や評価活動に関わる研究に取り組んでいる。校外活動では、地域連携コーディネーターが連絡及び折衝を行った。

#### (2) 観測体制

グローブの観測活動は、環境委員会が観測を行い、校内掲示や校内放送で観測結果を全校に発表したり、総合的な学習の時間「発表会」で、全校児童に気温等の変化から分かることを伝えたりした。

### (3) 観測機器などの設置状況

観測機器は、校舎外の百葉箱に最高最低温度計と湿度計を設置した。雲量計はグローブ掲示板から移動して使った。

## 3 研究内容

### (1) グローブの教育課程への位置付け

本校のESDは、教育課程全体で取り組むよう位置付けている。グローブ活動の結果は、持続可能な社会づくりに向けた学びとして、教科や総合的な学習の時間に活用するように位置付ける。

### (2) グローブを活用した教育実践

環境教育を核とする本校のESDは全学年の指導に位置付け実践している。グローブ活動の観測データを授業に活用することに取り組むとともに、全校児童や他校への発信も継続していく。

## IV 研究の成果と第2年次に向けての課題

【成果】教員が、カリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、知識や技能を関連させて指導することの意識が高まった。また、教科だけでなく、道徳やグローブ活動などの特別活動も含めた、教育課程全体でESDに取り組んでいることを実感できるようになった。その結果、児童は、主体的に学ぶ様子が増えるとともに、内容をより深く思考することができるようになった。また、自己の考えを発信する力がついた。

【課題】グローブ活動のデータを教科の授業に活かすことが十分にできなかったことや、教科等の横断的な学びとして、資質・能力の育成につなげることまでには至らなかった。また、校内の太陽光発電表示パネルにある発電量やCO<sub>2</sub>排出量を調べて関連を考えさせることも、2年次に向けた課題である。

## V 研究第2年次の活動計画

第2年次においても、総合的な学習の時間を柱に教科横断的に学ぶ環境教育を核としたESDは、今年度の学習内容を継続する。また、環境委員会がグローブ活動を実施することも継続する。さらに、太陽光発電の発電量やCO<sub>2</sub>排出量の集計も行う。

教員の研究としては、カリキュラム・マネジメントを活用した教科等横断的な指導によって育成する資質・能力を明確にし、指導の充実を図っていく。